市民相談は日本共産党へ
森戸　よう子　東町5-14-10　☎042（383）0514
水上　ひろし　緑町1-6-7-101　☎042（301）9521
たゆ　久貴　貫井北町1-25-7-4-101　☎042（203）1362
寺内　だい作　貫井南町1-21-13-102　☎042（386）2525

しんぶん 小金井
URL http://www.jcpkoganei.com/ 日本共産党小金井市議団 検索
2021年4月11日
No. 1778
●発行　しんぶん小金井社
［連絡先］
小金井市東町4-27-4
☎042(381)0779若木方

学校給食調理の更なる民間委託化

方針変更し全校委託化を提案
労使で「覚書」締結。22年三小・検証の上、24年一小の給食調理を委託化

小学校給食調理の「更なる委託」について、小金井市と職員団体は3月22日、「学校給食調理の民間委託に関する覚書」を締結しました。

「覚書」では、①令和4（2022）年4月から第三小学校の給食調理業務を民間委託する、②令和6（2024）年4月から第一小学校の給食調理業務の民間委託化にあたっては、事前に委託状況の労使検証を経た上で、実施するものとする、③令和8（2026）年4月からの東小学校及び本町小学校の給食調理業務の民間委託については、引き続き、労使で協議するものとする、④この移行に伴って生み出された財源については、学校施設等の整備や明日の小金井教育プランの推進に充てるものとする、⑤この覚書に疑義が生じた場合、労使双方が誠意をもって協議するものとする、としています。

市は、8年前の小学校給食調理の民間委託の際に、「新しい経営方法」（下欄参照）として、直営校を4校残し、小金井らしい給食を守ると説明してきました。全校委託の市の提案は、方針を大元から変更するものです。

日本共産党は、学校給食調理の民間委託について、子どもたちに安全でおいしい給食を提供するために委託を行うべきではない、また、「新しい経営方法」についての検証や方針が示されない中での更なる委託は、道理がなく中止すべきと求めてきました。

新しい経営方法の主な内容

「安全でおいしく温かい給食」を提供するため、４つの区域を基本に小学校給食調理業務の５校委託４校直営により効果的かつ効率的に事業を行う。

●直営校と委託校の役割

◆委託校では、民間の柔軟な運営体制とノウハウを生かし直営校と協力し、給食の質の維持向上と安定的な供給を行う。

◆直営校は「技術、伝統の継承」、「給食の質（小金井らしさ）の維持向上」に努め、調理員の視点に立った食育や地域との連携等をリードしていきます。

※直営校が給食の質を守るなどの役割を果たす内容です。直営校をなくす市の提案は問題です。

小学校の35人学級実現の法改正が成立
40年ぶりの規模縮小・世論と運動が実る
市教委へ「実現する会」が請願署名提出

小学校全学年の学級人数上限を現行の40人から35人に引き下げる改正義務教育標準法が、成立しました。小学校全体で学級規模を縮小するのは40年ぶり。「30人学級」「ゆきとどいた教育」を求める全国署名が継続的に取り組まれ、32年間で累計4億6千万人分が集まるなど、保護者や教員をはじめとした世論と運動の成果です。

小金井市でも「少人数学級を実現する会」が、「新型コロナウイルス感染禍の下、少人数学級の実現を求める請願書」の署名に取り組んでいます。7日（水）、507筆の署名を添えて市教育委員会に提出しました。

請願内容は、①国が進める35人学級を実現する方針を明確にし計画に反映すること、②実現に向けた課題を整理し、市民に明らかにすること、③少人数学級の環境整備の予算や教員の確保を国や都に求めることと、です。

東京都　高齢者施設・医療従事者への定期的PCR検査の実施を表明

東京都は4月2日の知事会見で、高齢者施設や医療機関などへの定期的PCR検査の実施を表明しました。

主な内容は、①4月から6月の間、高齢者・障がい者施設職員への月1回の定期的PCR検査の実施　②感染リスクの高い医療機関従事者への週1回の定期PCR検査の実施。

新年度の予備費50億円から約35億円を使って実施します。

対象が職員だけとされているなど課題はあるものの、日本共産党東京都議団が予算組み替えで求め、私たち市議団も市長への申し入れや予算組替えで実施を求めてきた内容です。

◆くらしの総合相談会◆
●と　き　4月17日（土）13時半～15時半
※時間がいつもより30分前倒しになりました。
●ところ　市役所本庁舎・日本共産党控室
※弁護士と市議会議員が相談に応じます。
※相談無料、事前にご連絡ください。

※裏面　第1回定例会、主な議案への各議員の態度を掲載

街から

市議会議員選挙で日本共産党4人全員が当選し、私も5期目を迎えることができました。みなさんのご支援ご協力に心から感謝いたします。

新型コロナから市民の命とくらし・営業を守ることなど、公約実現に決意新たにがんばります。

とりわけココバスのサービス水準を守り値上げはさせないことは切実です。駅頭で報告をしていると「ココバス守って。応援している」など声をかけられます。ココバスの運賃は、現在「路線バスの初乗り運賃（現在180円）と同程度」などを検討の方向性としています。

市の試算では、150円に値上げすると、利用者は年間16万人減少、180円だと、年間25万人減少となるとのこと。高齢者など必要とする方々の乗り控えが起きることは大きな問題です。

サービスを守り拡充し、利用者を増やして収支を改善することが必要です。

一緒にがんばりましょう。

（水上　ひろし）